



芦ヶ沢地区の将来予想図

第7回

都路の景観を美しくしよう (山の産業の後始末)



「暮らしに根ざした阿武隈150年の山づくり」第7回のテーマは、「都路の景観を美しくしよう」です。これまで、美しい広葉樹林を次世代につなぐための植林イベントや山の生き物、産物を体験するために蜂蜜の巣箱作り、原木しいたけの植菌作業、山に自生する実生採取などを実施してきました。今回は、都路の大動脈である国道288号線沿いに立つ大きな桑の木を伐採します。桑の木は、都路の産業であった養蚕に使われていました。至る所に桑の木がありましたが、養蚕農家が減少し、手入れされなくなった木もあります。今回の桑の木も放置されて大きくなり、景観を損ねています。木が大きいため個人が処理することは難しく、このまま手をつけずにいたら、危険にもなります。

そこで、あぶくま山の暮らし研究所では、都路町観光協会と共に、桑の木を伐採します。伐った木は、幹をパルプ材として売却します。産業の変化が後始末を発生させることを少しだけ思いながら(放置された杉の人工林、太陽光発電、風力発電の将来など)、都路の景観を美しくしましょう。

日時

令和8年 **3月15日(日)** 9時15分～11時30分

受付

9時 ※小雨決行

場所

国道288号線沿い「渡辺燃料店都路SS」前付近 田村市都路町古道字戸田平26

車両駐車場所:ふくしま中央森林組合都路事業所(田村市都路町古道字戸田平112-1)

持ち物

動きやすい服装、汚れてもよい靴、軍手、タオル、雨具、飲み物

参加費無料

申込方法

メール、申込書をFAX、にてお申し込み下さい。※締切:令和8年3月6日(金)

主催:特定非営利活動法人あぶくま山の暮らし研究所(Abukuma Sustainable Life Institute)

電話/FAX:0247-75-2055 E-mail:contact@asli.fukushima.jp HP:http://asli.fukushima.jp/

共催:都路町観光協会

協力:ふくしま中央森林組合都路事業所

特定非営利活動法人あぶくま山の暮らし研究所

当法人は、田村市都路町を拠点に活動しています。阿武隈に広がる広葉樹の山は、都路の暮らしを支え、先人が懸命に生きた証が刻まれています。私たちは、放射能汚染にも向き合いながら、豊かな山の恵みを子や孫に手渡せるように、山の暮らしを紡いでいくことを目標にしています。

当日のスケジュール

9時	受付け
9時15分	開会・挨拶・作業の趣旨説明 / 青木 一典(あぶくま山の暮らし研究所 理事長)
9時25分	挨拶 / 武田義夫 (都路町観光協会 会長)
9時30分	作業の説明 / 久保優司 (あぶくま山の暮らし研究所 副理事長) 伐倒、枝払い、玉切り、集材、残置する 枝葉の整理 (参加者)
11時	作業終了 / 意見交換会
11時30分	閉会・挨拶 / 久保 優司(あぶくま山の暮らし研究所 副理事長)

※スケジュールは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※主催者側でNPO活動総合保険に加入しています。

※本イベントでは、活動の記録や広報のため会場の様子を写真・動画で撮影し、ホームページやSNS等に掲載する場合があります。
掲載にご都合の悪い方は当日お知らせください。個人情報は本件のみに使用します。

参加申込書

※下記の必要事項をご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

フリガナ			
参加者名			
居住市町村		申込日	令和 8 年 月 日
電話番号		E-mail	